

新小岩、勝浦、千葉転で支部大会開催さる



80.12.24
No. 615

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五(六・公衆)四三三二七二〇七

活発な討議を通じ、満場一致闘う方針を決定

十二月二十日、各支部の先陣を切って、八一・三ジェット燃料輸送延長阻止闘争を軸とした
動労千葉第四回定期大会方針を職場に定着させ、強固な闘争体制を確立すべく、新小岩、勝浦、
千葉転三支部は支部定期大会を開催した。三支部の大会は、八一・三闘争こそ動労千葉の組織
の命運をかけた闘いであり、三里塚と反合闘争勝利、動労大改革——日本労働運動の戦闘的再
生をかけた重要な闘いであることを確認し、職場からの総決起をもって闘うことを決定した。

新小岩支部定期大会

大会は、十二時より機関区講習室に代議員・傍
聴者六八名が結集し、おだやかな中にも八一・三
闘争を佐倉・成田支部を包み共に闘い抜く決意を
こめたフニキの中で進められた。

議長に松本(敏)氏を選出し、松崎支部長のあ
いさつの後に鈴木葛飾地区労務局長から連帯の
あいさつを受け、西森副委員長の本部闘争委員会
を代表しての決意の表明が行われた。

経過報告、会計報告、方針案、予算案が順次提
起され、これを受けて質疑討論が活発に行われた。

その内容は、八一・三闘争へむけた闘いの取組
みを中心に、構運・検査係の待遇改善、事務掛の
養成のあり方、サークル活動等々の多岐にわたる
意見、質問が出され、本部、及び支部執行部から
の答弁が行われ十七時満場一致で向う一年間の運
動方針を決定し、支部長の音頭による団結ガンバ
ローをもって大会は成功のうちに終了した。

勝浦支部定期大会

十一・二五国鉄再建法粉碎・木原線廃止反対ス
トを国労共闘で闘い抜いた勝浦支部は、五〇名の
組合員が出席し、意気高く第三回支部定期大会を
運動区講習室で開催した。

本部から中野書記長、水野財政部長が出席し経
過報告、運動方針案をめぐって徹底した討論が行
われた。

特に、千葉管内で唯一国鉄再建法にもとづくロ
ーカル線廃止対象にあげられている木原線を担当
している関係上、木原線廃止反対闘争の進め方、
及び地区共闘の拡大等の意見が出された。

八一・三闘争に関しては、「バンドルを握り鉄
路を武器に闘う路線の成果を上げ、むかえる八一
・三の闘いは、国家権力を相手にした大変な闘い
になる。有利な情勢を生かして闘おう」と意見が

出され、その他、春闘、年金制度の改善、高令者
対策、反合・運転保安闘争、動員等々の多くの意
見が出され、方針、予算案が全体で確認された。

千葉運転区支部定期大会

関川委員長、山口・布施執行委員をむかえて開
催された支部大会は、五〇名の組合員の出席をえ
て議長に小島氏を選出し、進められた。永田支部
長は「八一・三を闘う五つの視点を自からのもの
とし、『本部』革マル反動分子の敵対を粉碎し、
来年三月へむけて総決起しよう」と力強くあいさ
つした。この後、関川委員長のあいさつ、布施組
織部長が討論の素材としての最近の特徴的情勢が
報告され、経過報告・方針案の質疑討論が行われ
八一・三闘争、乗務員運用合理化粉碎闘争、サー
クル活動、職場設備要求等を中心に論議され、満
場一致で闘う方針が決定され、大会は成功裡に終
了した。



新小岩支部大会 12月20日 (新小岩機関区講習室にて)